

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	前眼部OCTと組織標本での強膜岬の比較検討
研究責任者	濱中輝彦
研究機関名	日本赤十字社医療センター眼科
研究目的と意義	<p>原発閉塞隅角緑内障の手術治療方針は症例の病態により、手術方針が求められます。その手術治療方針を決定するには前眼部OCT検査での判定が欠かせません。前眼部OCT検査では強膜岬という部位が起点がありますが、原発閉塞隅角緑内障患者様の強膜岬の同定は前眼部OCT上判定が極めて困難であります。</p> <p>そこで本研究では術前の前眼部OCTで得られた画像が線維柱帯切除術で得られた標本での強膜岬の位置とどのように相関するのか調査します。</p>
研究方法	<p>2011年4月1日から2028年3月31日までに、原発閉塞隅角緑内障で線維柱帯切除術をされた患者さんの線維柱帯切除標本における強膜岬と、術前に得られた前眼部OCT画像上での強膜岬とを比較検討する後ろ向き研究です。</p> <p>患者さんへの負担やリスクはありません。研究結果は眼科学会での発表と眼科専門誌への投稿を予定しております。発表、論文に関して個人が特定されることはありません。個人情報に関しては別々のファイルにかけて保存され、研究終了後は個人が特定されるファイルは全て破棄されます。</p> <p>参加のご希望がない場合は下記までご連絡ください。またご参加のご希望がなくとも不利益を被ることはありません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：濱中輝彦、舟木俊成 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>